

環境の変化とまなざし

平成24年4月1日、足羽学園から4名の利用者の方がそれぞれ足羽ワークセンター、足羽更生園へと移行されました。

4月から数か月が経ち、移行された利用者の方ほどのような日々を過ごされているのでしょうか。

今回は足羽ワークセンターへ移行された、加藤研斗さんの様子をご紹介します。



養護学校の卒業式

生活面

加藤さんは『ケアホームあすわ』にて生活をされています。元氣よく作業から帰って来られた加藤さん。その表情から、毎日がとても充実している様子が見受けられました。

加藤さんの部屋にも案内していただきました。足羽学園に在園していたころを思い出し、どこか懐かしさを覚えました。

足羽学園在園時は、職員のお手伝いや年下の利用者



しわを伸ばして干します

の方に、お兄さんのようなかわりをされている姿が見られていました。『ケアホームあすわ』では職員、他の利用者の方とどのようなかわり、生活されているのでしょうか。足羽ワークセンターの職員に話を伺いました。

『ケアホームあすわ』へ移行された当初は、緊張からか、職員や世話人にびつたりとくっついていることが多かったです。しかし、面倒見のよい先輩利用者の方から声をかけられることが増



足羽学園の職員と、久しぶりの再会

え、今では少しずつ慣れてきたようです。掃除当番を積極的にされている姿も見られるようになりました。

(上野副主任)

引っ込み思案な部分はまだ見られていますが、変わらず元氣にしています。洗濯もしっかりできていますよ。

(吉野支援員)

先輩利用者の方や職員とのやりとりの中での、加藤さんの笑顔がとても素敵でした。

作業面

加藤さんは足羽ワークセンターの作業場『かがやき』で作業をされています。この日は、キッチン整理箱の作業を行っています。作業に取り組み加藤さんの表情は、真剣そのもの。

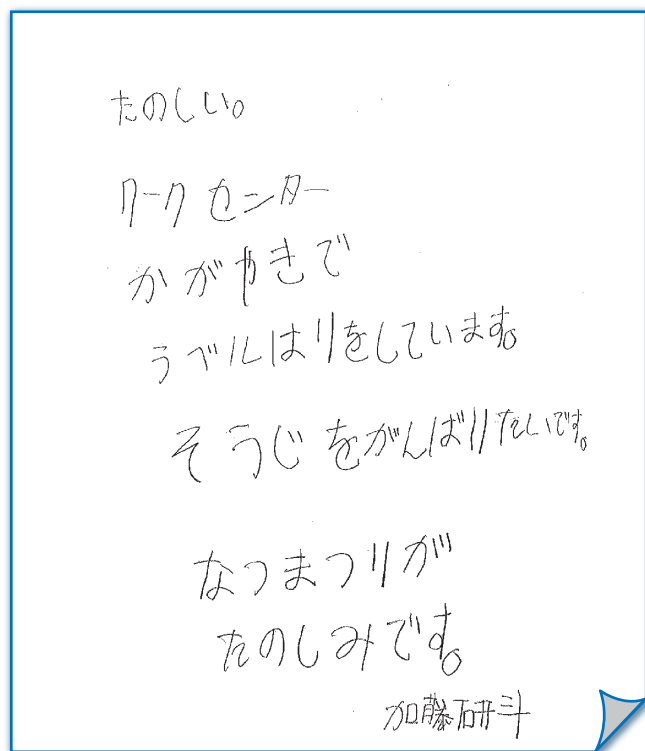
『かがやき』のリーダー職員である、加藤支援員に話を伺いました。

当初はとても緊張していたようで、職員との会話のやりとりも心もとない様子でした。作業に取り組む姿勢は頑張り屋で、とても丁寧に作業をしてくださっています。少し難しいかなと思うような作業でも、方法を伝えると、コツコツと取り組み、方法を覚えてからペースを落とさず、集中して取り組んでいます。



丁寧にラベルを貼っていきます

加藤さんは養護学校のと看から、足羽ワークセンターで現場実習を行っていました。しかし、ケアホームでの生活の経験はなく、当初は不安や緊張を抱えていたと思います。しかし、わずか数か月でにこやかな笑顔や真剣なまなざしを見せ、足羽ワークセンターの方から「とても生きいきしている」との言葉をいただき、とてもうれしく感じました。足羽学園に在園していたころでは知り得なかった表情。今後も足羽学園を巣立っていく利用者の方の姿勢や変化を、いつまでも見守り続けていきます。



加藤さんからのコメント

みんなの広場

明るい笑顔が印象的なHさん。『毛糸のシュシュ』作りが得意です。「何色がいい?」と、足羽学園の女子利用者の方や女子職員にリクエストを聞き、可愛いシュシュをプレゼントしてくれる優しさも素敵です。



髪ゴムの周りに2色の毛糸を複雑に編んで完成♪